

ボランティア

学生ボランティア出陣式 — 奈良市とスクールサポート事業に関する協定書を締結 —

学生サービス課

■ 奈良市内四大学と奈良市が協定

六月十一日、奈良市庁舎において、奈良教育大学をはじめ奈良市内四大学と奈良市との間で、「連携教育に関する協定書」及び「学校教育支援活動（スクールサポート）事業に関する協定書」が締結されました。

調印式には、柳澤学長をはじめ、奈良女子大
学長、帝塚山大学長及び奈良大学長が、奈良市
側からは、大川市長、冷水教育長らが出席しま
した。

この協定は、奈良市内のすべての公立小・中
学校と幼稚園（百二校・園）に、教員志望の学生・
大学院生をスクールサポーターとして派遣し、
授業やクラブ活動の補助など学校教育活動支援
を通じて、相互の教育活動の充実を図ろうとす
るものです。

調印式で大川市長は、「学生が現場に入り子
どもと接することで、教育の充実、活性化が図
れる」と、学生の派遣に大きな期待を寄せ、四
大学を代表して柳澤学長は、「学生にとつては、
学校という生きた学びの場を直接体験し、教え
ることの難しさや子どもとの対話を通した子ど
もの理解、先生方との交流など、教育専門職と
しての意識を高め、その資質を磨く貴重な機会
となる」と、この事業の意義を強調しました。

本学におけるスクールサポーターの登録者数
は百三十名を超え、学内選考を経て、百数名近

くの学生が、七月下旬から、随時、活動を開始
しました。

■ ボランティア派遣について

七月十六日には、スクールサポーターに加
え、大和郡山市「学習チューター」、奈良県「学
生ボランティア」を含めた学生を対象に「ボ
ランティア派遣説明会（出陣式）」を開催し
ました。柳澤学長から学生への激励があつた
のち、杉本ボランティア相談員から「ボラン
ティアの心得」についての講話があり、奈良
市からは、中室学校教育課長の挨拶、上田指
導主事による派遣に当たつての事前指導が
ありました。参加者全員に、学生サービス課
作製の「ボランティア活動記録（手帳）」を配
付しました。また、三回生の仲島浩紀君がス
クールサポートに参加する

決意を述べ、大学院1回生の
田中美和さんからは、大和郡
山市の不登校児童生徒を支
援するための学科指導教室「A
SU（あす）」で六月から学
習チューターとして活動し
ている体験の報告がありま
した。

今後、派遣先学校や奈良市
教育委員会との連携を一層
強化するとともに、派遣学生

の意見を聴き、このスクールサポート事業をは
じめ、各種ボランティア事業について、より充
実し発展させていきたいと考えています。

ボランティア活動を実践するあなたたちへ

自分が誰かの役に立つ、社会のために何かができる
喜びを体験できるって、素晴らしいことはありませんか。
さまざまな生き方や考え方を学び、社会の問題・課題
を考えることができ、豊かな人間性を育てることが可能
となるボランティア活動。
学生生活の充実だけでなく、生涯にわたって精神的
に豊かな生きがいのある人生を送ることができる基礎
を築くこととなります。
さあ、次のことをよく守って、実践活動を有意義なも
のにしましょう。

1. 約束事を確認し、守ろう。
2. 人との出会いを大切にしよう。
3. 学ぶ姿勢から活動を始めよう。
4. 無理をせずに、できることから始めよう。
5. 報告・連絡・相談を忘れずにしよう。
6. 子ども達の安全を第一に考えよう。
7. プライバシーや秘密を厳守しよう。

